

多摩部の公園で見られるトンボ



1. シオヤトンボ (トンボ科)

- ・4~7月 ・大きさ40~46mm
- ・平地からきゅうりょう地のしつ地や田んぼで見られる。

4月に入ると一番にあらわれるトンボ。

田んぼのあぜなどにはりついてとまる。

オスは体に水色のこなをふく。

メスの体はおうど色でおなかの横に黒いすじがある。

わかいオスは、体の色がメスになて、くべつしにくい。



2. シオカラトンボ (トンボ科)

- ・5~11月 ・大きさ47~61mm
- ・平地からひくい山地の池、ぬま、川、田んぼなど。

全国でもっともふつうに見られるトンボの一つ。

目は水色で、オスは体に水色のこなをふく。

メスの体はおうど色で、ムギワラトンボとも言われる。

オスもメスもおしりの先が黒い。メスがたまごをうむとき、

オスはまわりをとんでメスを守る。



3. コシアキトンボ

(トンボ科)

- ・6~9月 ・大きさ42~48mm
- ・平地から山地の木かげのある池、ぬまやゆるやかな流れ。

こしに白いおびがある黒いトンボ。オスのおびは、はじめ黄色いがだんだん白くなる。メスのはねの先には黒い斑がある。



4. オオシオカラトンボ (トンボ科)

- ・6~11月 ・大きさ49~61mm
- ・平地からひくい山地の池、ぬま、しつ地、田んぼ

オスもメスもシオヤトンボやシオカラトンボになてているが、目は茶色でオスはシオヤトンボやシオカラトンボより体が青い。

メスは、おなかに黒いたてのすじがないので、くべつできる。

名前にオオとつくが、シオカラトンボと大きさはほとんどかわらない。



5. ショウジョウトンボ (トンボ科)

- ・5~10月 ・大きさ41~55mm
- ・平地からきゅうりょう地の池、ぬま、しつ地、田んぼ

オスははじめはメスと同じオレンジ色だが、頭からおしりの先までまっ赤になる。メスは赤くならずオレンジ色のままで、はねが金色に光りとても美しい。

オスは夏のころから赤いので、赤トンボとはよばない。

※秋に赤くなるとんぼのことを赤トンボという。



6. ウスバキトンボ

(トンボ科)

- ・6~10月 ・大きさ44~54mm
- ・平地からきゅうりょう地の池、ぬま、しつ地、プール、公園の芝生上で多く見られる。

夏のはじめごろ、南からとんできて、せだい(たまご→ようちゅう→せいちゅう)をくり返し北へ長い旅をするトンボ。



7. ハラビロトンボ
(トンボ科)
・6~8月・大きさ33~42mm
・平地からひくい山地の池、ぬま、しっ地など

おなかがひらべたいトンボ。オスの目とむねは黒く、おなかには青白いこなをふく。メスは体全体が黄色い。わかいオスは、メスと同じような色をしている。

8. アオイトトンボ
(アオイトトンボ科)
・5~9月・大きさ34~48mm
・平地から山地の池、ぬま、しっ地など

オスは、むねとおしりの先に青白いこなをふく。はねを半開きにしてとまるのが、アオイトトンボのなかまのとくちょう。

9. オオアオイトトンボ
(アオイトトンボ科)
・6~11月・大きさ40~55mm
・平地から山地の木々にかこまれた池、ぬま、しっ地など

アオイトトンボのなかまでは、もっとも大きい。アオイトトンボになるが、むねに白いこなをふかない。

10. ホソミオツネトンボ
(アオイトトンボ科)
・3~12月・大きさ32~42mm
・平地から山地の植物の多い池、ぬま、しっ地、など

あざやかな水色がよく目立つ細長いトンボ。成虫で冬をこすため、冬になると全身が茶色に変わり木のえだなどになりきる。

11. モノサシトンボ
(モノサシトンボ科)
・6~10月・大きさ38~51mm
・平地から山地の周囲に林のある池や沼、流れのゆるい河川など

おなかにものさしのめもりようなちようが並んでいることから名前がついた。池だけでなく、その周りの林でもよく見られる。

トンボの中の変り者？ ホソミオツネトンボ

多くのトンボの仲間は冬になると卵やヤゴ（幼虫）で冬眠しますが、ホソミオツネトンボは成虫で冬眠する変わり者です。成虫で冬眠することで、春になると他のトンボよりもいち早く水辺に



木の枝に掴まり冬眠

訪れることができるので、他のトンボや天敵に邪魔されことなく繁殖をすることができます。冬眠中は体が茶色くなり、木の枝や枯草につかまりじっとすることで自然に溶け込みます。

※その他成虫で冬眠するトンボ：オツネトンボ、ホソミイトトンボ



12. オニヤンマ
(オニヤンマ科)
・6~10月・大きさ82~114mm
・平地から山地の木々にかこまれた池、ぬま、しっ地など

黒い体に黄色のしまもよう、緑色の目がとくちょう。ようちゅう（ヤゴ）の期間は長く3~4年。



13. コオニヤンマ
(サナエトンボ科)
・5~9月・大きさ75~93mm
・きゅうりょう地のまわりに、木々のある川など

オニヤンマになるが、体にくらべて頭が小さく、目と目の間がはなれている。



14. ギンヤンマ
(ヤンマ科)
・5~10月・大きさ65~84mm
・平地から山地のひらけた池、ぬま、川など

オスのおなかのつけ根は水色でメスは黄緑色。クロスジギンヤンマはむねに黒いすじがある。